

空家等実態調査の進捗状況について

計画準備



資料収集・整理



基礎データ作成



机上調査



6月

・業務行程、地域の状況を考慮した実施体制を構築

7月

・次のデータについて資料収集を実施

- ①水道施設（水栓）データ
- ②水道施設（使用量）情報データ
- ③水道施設GISデータ
- ④地番現況図データ
- ⑤家屋現況図データ
- ⑥土地課税台帳データ
- ⑦家屋課税台帳データ
- ⑧住民基本台帳データ
- ⑨都市計画基本図データ
- ⑩都市計画GISデータ

8月

・収集したデータの変換・調整を実施し、空家候補水栓データの作成を実施

9月

・水栓データ、地番現況図等のデータを使用し、空家候補建物の抽出を実施
・年間水道使用量が12立方メートル以下の建物を空家候補として選定し、3,739件を調査対象として抽出

現地調査・確認



調査結果整理



所有者意向調査



データベース作成



業務報告

10月～12月

- ・空家判定、老朽度判定、利活用判定を実施するための現地調査票を作成
- ・現地調査員の意志統一を図るため、調査マニュアルを作成
- ・調査票、マニュアルを基に試行調査を実施
- ・10月5日より現地調査開始

1月

- ・現地調査結果の整理後、空家判定を行うためのカルテ（調書）を作成し、調査項目に点数を付け、老朽度や利活用の程度を判定

2月

- ・現地調査結果を基に、空家所有者意向調査を実施

3月

- ・現地調査結果を基に、空家候補建物ごとにデータベースを作成

3月

- ・全ての調査完了後、結果を取りまとめた報告書を作成